

岐阜県職員倫理憲章 海津明誠高等学校実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり海津明誠高等学校実行計画を定めます。

令和6年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- (1) 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- (2) 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法が定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱いに努めます。
- 常に法令に基づいて公平・公正に職務を遂行し、不当な圧力や働きかけを受けたときは、「外部からの不法・不当な働きかけへの対応方針」に基づき、職員個人や担当窓口のみの対応に任せず、上司への迅速な報告と学内の体制整備、関係部署への連絡等を適切に行います。
- 県民の信頼を損なうことがないように、厳正な服務規律の確立に努めます。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- (1) 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努めます。
- (2) 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 予算の使い切り意識を無くし、徹底的な経費の縮減に努めます。
- 事務用品の在庫管理の徹底・再利用の促進による事務用品購入経費の削減、両面コピーや縮小コピーなどの活用によるコピー使用枚数の削減などにより、経費節減を徹底します。
- 職員の時間管理意識の徹底や管理職員による組織のマネジメントを強化し、時間外勤務の縮減や職場内での工夫による業務の効率化等に努めます。

3 学校職員としての自覚を高め、質の高い教育ときめ細かな支援を提供します。

- (1) 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- (2) 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧に業務を進めます。

【取組事項】

- 全教職員が、研修会等に積極的に参加して専門能力を習得するなど、常に自己研鑽に努めることにより、生徒の生活改善・進路実現等を向上させます。
- 研修会等で得た情報を、職員会等において全教職員が共有できるように努めます。
- 「保護者・生徒による学校評価」、「生徒による授業評価」、「教員による相互授業参観・相互評価」、「研究授業」等を通して、専門性を高め、授業改善に努めます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- (1) マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- (2) どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 不測の事態が発生した時に、迅速な情報伝達を図れるよう生徒・教職員の緊急連絡体制を整備し、迅速に伝達します。
- 緊急時に備え、救命・救助機器、非常発電機等の使用方法などについて、研修会を実施します。
- 危機管理マニュアルを整備するとともに、新たな想定を加えて実地訓練を行いマニュアルの見直しを図ります。
- 多方面よりの情報収集に日頃から細心の注意を払い、いち早く事故・不審事案等を察知し、上司への迅速な状況報告と適正な指示を受けて、問題発生又は被害を最小限にします。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- (1) 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- (2) 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、学校長の統一的な指揮のもと、迅速かつ正確な情報収集・報告・分析や、応急対策（被害の拡大防止等）の実施に当たります。また、再発防止を確実かつ速やかに実施します。
- 台風、休校、不審者情報、修学旅行情報等を、速やかに生徒・保護者・全教職員に携帯電話メールで一斉に送信します。

6 教職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- (1) 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- (2) 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 企画委員会、職員会議、朝会等を利用して迅速で円滑な情報伝達を図るとともに、最新の情報を職員室に掲示して、情報共有を密にします。
- 伝達された情報について、自由な議論ができる職場づくりを目指します。
- 上司が適切な判断ができるよう、良い情報であるか不都合な情報であるかにかかわらず、すべての情報を速やかに報告するなど、教職員の意識改革に努めます。
- 管理職員は、定期的に教職員と面談して考えや悩み等の把握と理解に努めるとともに相談しやすい職場の雰囲気づくりに努めます。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- (1) 地域での活動に積極的に参加します。
- (2) 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 教職員が地域活動（地元の市町等の行事・ボランティア活動等）に積極的に参加し、活動で得た地域からの声や目線を真摯に受け止めて、日々の業務にフィードバックします。
- 専門科で学習した知識・技能・作品を活用し、地元行事の広報・参加や地域の施設との交流・出前講座を生徒・職員が一体となって実施することにより、地域に貢献した学校づくりを実行します。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組めます。

- (1) 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- (2) 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 学校情報を積極的に公開するために、様々な行事等を積極的に新聞社に広報するとともに、掲載記事を校内に周知します。また、ホームページでも校内の最新情報の更新に努めます。
- 学校運営協議会委員等による「学校関係者評価」等を実施して意見・提言を聞くとともに速やかに学校運営の改善に活用していきます。
- PTAや同窓会、その他地域住民との交流による対話を重視し、地域との強い連携を推進して学校教育を円滑に進めるとともに質的向上を図ります。